

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書 ・ 補助教科書 ・ その他
1 単位	後藤辰雄	現代高等保健体育 (大修館書店)
○ 必 履 修 学校必修 必修選択 自由選択	鈴木昭生	
	小嶋拓弥	

◆学習の目標

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

◆主な学習内容・方法

- (1) 生涯を通じる健康のうち、生涯の各段階における健康、労働と健康について理解を深める。
- (2) 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。
- (3) 健康を支える環境づくりのうち、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について理解を深める。
- (4) 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。

◆到達目標と評価の観点

[到達目標]

- ・ 生涯を通じる健康に関わる事象や情報などから課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。
- ・ 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明できる。

[評価の観点]

- ・ 「知識・技能」 「思考力、判断力、表現力等」 「主体的に学習に取り組む態度」

◆評価の方法

毎時間の出席状況、年間3回の定期考査、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」など平常の取り組み、個人ノートと課題提出の結果などで総合的に評価する。

◆年間予定授業時間

予定時数	35 時間	1 学期 (13 時間) 2 学期 (14 時間) 3 学期 (8 時間)
------	-------	---

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- (1)生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯の各段階における健康や労働と健康について理解を深める。
- (2)生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。
- (3)健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について理解を深める。
- (4)健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。
- (5)健康に関する課題を解決する学習活動として、ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイング、実習、実験、課題学習に取り組む。

◆授業計画

学期	月	単元 ・ 教材等	学習の内容	学習到達目標
一 学 期	4	生涯を通じる健康 時間 (13時間)	2 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 2 結婚生活と健康 2 妊娠・出産と健康 3 家族計画と人工妊娠中絶 2 加齢と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う心理面、行動、生活面の変化に対する適切な判断と対応ができる。 ・ 受精・妊娠・出産における男女の役割について、妊産婦の疾病と保護の必要性が理解できる。 ・ 家族計画の意義や人工妊娠中絶の害について理解し、健康的な家庭生活とは何かを考えることができる。 ・ 加齢に伴う心身の変化を形態面と機能面から理解できる。 ・ 健康診断の重要性を理解できる。 ・ 健やかな高齢化社会を目指した保健・医療・福祉の連携を理解できる。
	5			
	6			
	7			
二 学 期	8	生涯を通じる健康 社会生活と健康 時間 (14時間)	1 高齢者のための社会的取り組み 1 生涯にわたる健康づくり 1 保健制度とその活用 1 医療制度とその活用 1 医薬品と健康 1 さまざまな保健活動や対策 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 1 健康被害の防止と環境対策 1 過去の公害から学ぶ環境問題 1 環境衛生活動のしくみと働き 1 食品衛生活動のしくみと働き 1 食品と環境の保健と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健制度・医療制度と医療保険・医療費について、保健サービス・医療サービス・医療機関の活用を受けられるしくみを理解できる。 ・ 環境汚染の現状を理解し、健康に及ぼす影響とその改善策を考えることができる。 ・ 産業廃棄物の処理とゴミの減量化の必要性が理解できる。 ・ 上下水道の整備の必要性を理解できる。食品の安全性、衛生管理と健康の保持増進との関連が理解できる。
	9			
	10			
	11			
	12			
三 学 期	1	社会生活と健康	1 働くことと健康 1 労働災害と健康 1 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働災害とその防止、職業病とその防止について理解できる。 ・ 職場と日常生活における健康の保持・増進について理解できる。
	2			
	3	課題解決型学習 (8時間)	5 調べ学習・発表 ・ 全範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の判断を他者に伝えることができる。